

# なんケア通信

第39回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました

開催日時：令和5年12月1日(金) 18:00~19:00

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：34名(介護事業所関係者 15名、福祉用具専門相談員 2名  
地域包括支援センター 5名、医療関係者12名)

## 演題

## 『スキン-テア予防と創傷ケア』

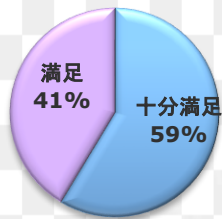
講師：介護老人保健施設 男鹿老健 看護科長  
皮膚・排泄ケア認定看護師 武田 美幸氏

高齢者のスキン-テアの主要因は“スキフレイル”で、加齢による皮膚の変化が関係しています。スキン-テアの発生と再発の予防ケアには、外力から保護するためベッド環境を整えたり、皮膚を保湿することなどが重要です。創傷ケアの際には、被覆材に日時・剥離方向・裂傷状況を記入すると、剥離する時に皮膚を傷めることが少ないそうです。講演では実際に、参加者が3種類のテープを自身の腕に貼り、貼ったり剥がしたりすることで、粘着の違いを体験しました。個々の高齢者の肌状態に合わせたケアが大事だということを学びました。貴重な講演ありがとうございました。

## アンケート結果

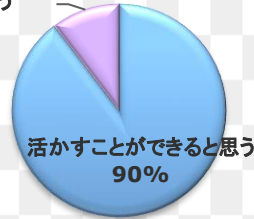
回収率：85.2%(アンケート配布：34名、回収：29名)

1. なんケアの会に参加して、いかがでしたか？



2. 今後、地域での活動に活かすことができそうですか？

部分的に活かすことができると思う  
10%



## 皆様からのご意見・ご感想

高齢者のスキフレイルチェックリストで、利用者様の皮膚の状態について判断でき、看護師や主治医との連携が図れると感じた。  
(介護支援事業所関係者)

周辺知識として学びたく参加しましたが、処置の方法まで詳しく説明して頂き、とても勉強になりました。どの程度の創傷なのか、評価しながら利用者さんに介入していきたいと思いました。  
(介護支援事業所関係者)

大変勉強になりました！現場(看護師)から離れて長くなりますが、以前行っていた処置とはどうだったのか...と考えさせられました。演習もありとても楽しく学ばせていただきました。  
(地域包括支援センター)

スキン-テアという言葉を知る機会が多々ありましたが、具体的なことや対策等を知ることができたので勉強になりました。  
(福祉用具専門相談員)

## 会場の様子



## 次回開催のお知らせ

開催日時：令和6年2月2日(金) 18:00~19:15  
会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」

